

I 平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

1 主要な会議

(1) 理事会

区分	開催日	議案等
第1回	平成23年6月10日	①屋久島環境文化村中核施設の田川館長の辞任に伴う後任人事について ②平成22年度事業報告及び決算(案)について 〈公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行関係〉 ③最初の評議員の選任方法(案)について ④最初の評議員選定委員会の設置・運営規則(案)について ⑤最初の評議員選定委員会委員について ⑥最初の評議員選定委員会に推薦する最初の評議員の候補者及び特別顧問について ⑦移行後の理事及び監事について ⑧移行後の理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)について ⑨定款の変更(案)について
第2回	平成24年2月10日	①平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ②その他 〈公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行関係の報告と確認事項〉 ・公益財団法人への移行に係る最初の評議員会選定委員会結果について ・公益財団法人屋久島環境文化財団定款について ・公益財団法人への移行に係る最初の評議員及び特別顧問について ・公益財団法人への移行に係る最初の理事及び監事について ・公益財団法人への移行時の基本財産について

(2) 評議員会

区分	開催日	議案等
第1回	平成23年6月1日	①平成22年度事業報告及び決算(案)について ②理事の選任について 〈公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行関係〉 ③最初の評議員選定委員会委員について ④最初の評議員選定委員会に推薦する最初の評議員の候補者及び特別顧問について ⑤移行後の理事及び監事について ⑥移行後の理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)について 〈報告事項〉 ①屋久島環境文化村中核施設の田川館長の辞任に伴う後任人事について

第2回	平成24年2月1日	①平成24年度事業計画(案)及び収支予算(案)について ②その他 〈公益財団法人制度改革に伴う公益財団法人への移行関係報告事項と確認事項〉 <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人への移行に係る最初の評議員選定委員会結果について ・公益財団法人屋久島環境文化財団定款について ・公益財団法人への移行に係る最初の評議員及び特別顧問について ・公益財団法人への移行に係る移行後の理事及び監事について ・公益財団法人への移行時の基本財産について
-----	-----------	--

2 事業報告

(1) 環境学習事業

① 自主事業

ア 自然・文化体験セミナー「屋久島感動めぐり」まるごと屋久島体験
 広く全国から参加者を募り、自然を体験したり環境文化を学ぶため、屋久島のフィールドを活用した自然観察や島内の方々との交流等を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
カメラで見る世界遺産の新緑	西部林道カメラレクチャー、春の里地散策	平成23年4月15日～17日	7人
屋久島で体験？日本列島縦断	黒味岳トレッキング、垂直分布、クラフト活動	〃 5月6日～8日	16人
水と戯れる旅&ウミガメ体験	郷土料理体験、蛇之口トレッキング、酒造見学	〃 7月1日～3日	9人
屋久島子ども大冒険ツアー	台風接近のため中止	〃 8月2日～5日	一人
家族で目指せ！雲の上のパノラマ	愛子岳トレッキング、白谷トレッキング	〃 9月17日～19日	7人
カメラで見る世界遺産の紅葉	山小屋泊、平内集落散策、地元懇談会	〃 11月3日～6日	14人
世界遺産の温泉と里めぐり	白谷雲水峡、平内集落散策、タンカン収穫体験	平成24年2月17日～19日	10人
計	6回		63人

イ 里のエコツアー

広く全国から参加者を募り、自然環境に負荷を与えない屋久島の里地の暮らしや伝統文化等について体験できるエコツアーを新たに行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
のんびりゆったり里のエコツアー①	宮之浦集落散策、郷土料理、	平成23年 5月21日	21人
のんびりゆったり里のエコツアー②	中間集落散策、郷土料理、郷土芸能	〃 9月24日	11人
のんびりゆったり里のエコツアー③	吉田岳参り体験	〃 10月1日～2日	3人
のんびりゆったり里のエコツアー④	平内集落散策、タンカン収穫体験、郷土芸能	平成24年 2月18日	13人
のんびりゆったり里のエコツアー⑤	春牧集落散策	〃 3月 4日	20人
計	5回		68人

ウ ふるさとセミナー

島内の方々を対象に、屋久島の身近な自然を素材にしてふるさとの新たな一面を発見し、自然のすばらしさを学ぶための体験型研修を行った。

名 称	実 施 内 容	実 施 時 期	参加者
出張研修センター(口永良部)	星空レクチャー, 星空観察	平成23年5月14日	54人
研修センターオープンデー	楽しい理科実験, うちわ作り他	〃 7月23日	51人
冒険しよう	テント宿泊, たき火料理, キャンドル作り	〃 11月12日～13日	19人
計	3回		124人

エ 星空観察会

星座や宇宙への関心を高めるため、島内各地で季節ごとの星空観察を行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
春の星空観察会 (栗生小学校)	平成23年4月24日	65人

オ 自然に親しむ集い

環境省, 屋久島町と共催で, 屋久島の身近な自然のすばらしさを学ぶため, 島内の方々を対象に自然観察活動や自然体験活動を行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
貝拾いからわかる! 屋久島海の生物多様性	平成23年7月9日	18人

② 環境学習受入事業

財団が作成した学習プログラムを活用して宿泊研修, 一日研修, 短時間研修を行うグループの受入れを行った。24年3月31日現在

区 分	団体数	延べ参加者
宿 泊 研 修	75団体	5, 171人
一 日 研 修	28団体	776人
短 時 間 研 修	17団体	297人
合 計	120団体	6, 244人

③ 人材養成事業

エコツアーガイドの育成, 資質向上を図るため, ガイドセミナーを行った。

名 称	実 施 時 期	参加者
ガイドセミナー「教養編」	平成24年2月23日～25日	20人
ガイドセミナー「救急法編」	〃 3月17日～19日	20人
計	2回	40人

④ 屋久島子どもエコ隊活動事業

屋久島の小学校4～6年生を対象に, 体験的な環境学習を通して, 自然環境に対する意識の向上を図り, 屋久島の未来を担う「屋久島子どもエコ隊活動事業」を実施した。

実 施 日	内 容	参 加 者
平成23年6月25日 (土) ～ 26日 (日)	・ネイチャーゲーム ・中間集落散策	小学生19人
平成23年9月10日 (土)	・春田浜観察会 (パークレンジャーと合同開催)	小学生15人

平成23年10月29日（土） ～ 30日（日）	・小杉谷観察 ・屋久杉自然館見学 (パークレンジャーと合同開催)	小学生15人
平成23年11月12日（土） ～ 13日（日）	・サバイバルウォークラリー ・野外炊飯 (冒険しよう合同開催)	小学生18人 (他 中学生1人)
平成23年12月10日（土） ～ 11日（日）	・地球温暖化防止活動の学習 (フードマレージ学習) ・野外炊飯	小学生11人
平成24年1月14日（土）	・地球温暖化防止に関する学習 (電気自動車・ハイテクイゼル)	小学生10人
平成24年2月26日（日）	・間伐体験活動・ネイチャーフ ォトスタンド作り	小学生9人
計	7回	小学生97人 (他 中学生1人)

⑤ 屋久島関連論文等データベース化事業

屋久島関連の研究者の資料収集やデータベース化の準備を行い、内容の充実と研究講座等への招聘に活用した。また、研究者との連携を推進するために、メーリングリストの活用を図った。

(平成24年3月末現在メーリングリスト登録者数：21人)

⑥ 屋久島高校環境学習支援

自然の中で行われる学習活動（屋久島でのエコツアーリズム、屋久杉の植生・利用の歴史調査等）を通じて、屋久島の自然環境への理解を深めたり、人と自然の関わりを考えることを目的に、屋久島高等学校環境コースの生徒の宿泊研修に対し支援を行った。

また、「縄文杉」とニュージーランド「タネマフタ」との姉妹木盟約締結を契機に交流を行っている高校生、中学生のニュージーランド派遣旅費の一部を、町を通して支援を行った。

名 称	実 施 時 期	参 加 者
夏 季	平成23年 7月14日～15日	生徒 4人
秋 季	〃 10月27日～28日	生徒 5人
冬 季	平成24年 1月26日～27日	生徒 5人
ニュージーランド派遣	平成23年7月25日～8月15日	生徒 7人
計	4回	生徒 21人

⑦ 屋久島研究講座

島内の方々を対象に、屋久島についての理解を深めてもらうため、屋久島について調査研究した内容を講義形式で発表する屋久島研究講座を実施した。

回	講演日	演 題	講 師	場 所	参加者
1	9月5日	寄生虫とサル：その隠れた闘い 屋久島の森とシカ～照葉樹林の 林床植生とヤクシカの関係	アンドリュー・マッキントッシュ 幸田良介	村センター 映像ホール	約90人
2	2月24日	屋久島の森林とシロアリの関係	木原久美子 樋口真二	研修センター	約90人

3	3月2日	「屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業」中間発表	吉田茂二郎 手塚賢至	研修センター	約60人
4	3月9日	屋久島の地質の魅力と不思議	根建心具	研修センター	約80人
	計	4回			約320人

⑧ 出張屋久島研究講座

島内の団体を対象に、屋久島の自然や文化に対する認識を深めるため、財団職員を直接地域に派遣し講演を行った。

実施日	内 容	対象者	参加者
4月16日	春田浜のサンゴ礁, 魚類, 植物について (講師 市川 聡)	春牧区民	約100人
6月28日	屋久島の歴史について (講師 日高 雲平)	おおぼらかい	25人
計	2回		約125人

(2) 環境形成事業

① 環境保全普及啓発

環境省が作成したマナービデオの中核施設内の放映や、マナーガイド・リーフレットの配布を行った。

② 山岳部利用対策

屋久島山岳部車両運行対策協議会が、環境保全と荒川登山口の混雑緩和のため3月1日～11月30日(275日)までの期間、荒川三叉路から荒川登山口までの一般車両の終日乗り入れ規制及び屋久杉自然館前～荒川登山口間の「荒川登山バス」を運行するに際し、協力・推進するとともに、縄文杉周辺等でマナー指導、パトロールを実施した。

また、山岳部トイレのし尿処理問題に関し、携帯トイレの利用促進のためのリーフレットを配布したほか、山岳部トイレのし尿処理費用を屋久島を訪れた方々に負担してもらった「屋久島山岳部保全募金(募金額：一口500円)」について関係機関と連携を図りながら募金・広報活動を行うとともに、財団から30万円の募金を行った。

③ 環境保全活動支援

自然共生社会づくりを推進するため、屋久島まるごと保全協会、屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊、屋久島町、当財団の四者で設立している「屋久島生物多様性保全協議会」に参加し、屋久島の絶滅危惧種等の貴重植物の現況分布調査や生物多様性保全に関する普及啓発の会議等を行った。

環境保全の意識向上のための啓発運動等に取り組んでいる島内の団体等に対する支援や屋久島の生物や環境保全をテーマに調査・研究する研究者に対し、新たに助成を行った。

事業区分	団 体 名	事 業 内 容
①	何かやってる会	割り箸等のリサイクル推進
②	屋久島町	ヤクシカの個体数管理(捕獲器8基)
③	九州大学 吉田茂二郎	ヤクスギ天然林の分布の推定
	屋久島まるごと保全協会 手塚賢至	絶滅危惧種・貴重種分布調査

※事業区分：①屋久島環境ボランティア活動支援事業 ②野生生物生息環境保全等対策支援事業 ③屋久島生物多様性保全研究活動奨励事業

④ 自然保護活動

ア うみがめ保護

うみがめの産卵環境を保護するため遮光林の植栽・維持管理や海岸清掃を行った。

- ・遮光林維持管理・海岸清掃

委託先	実施場所	延べ人数
NPO屋久島うみがめ館	永田いなか浜, 一湊一ツ浜・二ツ浜	36人

- ・グリーンワーカー事業

環境省から受託して国立公園区域内でのうみがめ上陸に支障がないよう、海岸清掃を地域の方々と共同で実施した。

実施団体	実施場所	延べ人数
NPO屋久島うみがめ館	永田浜(いなか浜, 前浜, 四ッ瀬浜) 一湊(一ツ浜, 二ツ浜, シビワン)	361人
栗生バレーボールスポーツ少年団	中間浜	58人
栗生剣道スポーツ少年団	栗生浜	52人
財団直営	田代海岸	32人
計		503人

- ・海岸清掃

実施日	実施場所	延べ人数
平成23年4月16日 (海祭り海岸清掃)	島内の海岸各所	1,208人
平成23年6月5日	永田いなか浜	雨天中止

イ 屋久島の動植物の調査等事業

「屋久島の地質ガイドブック」発行をした。

(3) 交流推進事業

① 情報の収集・提供

ア 財団会報「屋久島通信」(A4版, 12ページ)の発行(9,900部)

全国の屋久島ファンクラブ会員等に対して、屋久島の情報を提供した。

号数	発行時期	内容
第48号	平成23年7月	屋久島の地質の不思議 他
第49号	平成23年11月	西部地域のルール 他
第50号	平成24年3月	屋久島高校環境コース研究発表 他

イ 財団機関紙「まるりん通信」の発行(6,500部)

毎月1回島内の全戸に配布し、財団の活動状況を紹介するとともに、中核施設への来館、イベントへの参加を呼びかける情報発信を行った。

② 財団ホームページの運用

財団ホームページの情報発信機能や情報を充実させ、より多くの方に閲覧してもらえるよう、屋久島と財団の情報を島内外に発信した。(仏語版作成)

③ 屋久島ファンクラブの運営・加入促進

財団の活動を支援・協力していただくファンクラブ会員に「屋久島通信」による情報提供を行った。

また、屋久島ファンクラブへの加入促進や財団のPR等を行う「宣伝大使」の制度を活用し、出郷者会員を中心に会員増などに努めた。

ファンクラブ会員数	836人
うち会費自動振込利用者数	64人
うち23年度新規加入者数	100人

④ ボランティアネットワークの構築・運用

(ア) 屋久島の環境保全活動等に協力していただける人々を登録する環境文化ボランティア制度の周知に努めるとともに、島内でのボランティア活動を行った。

ボランティア登録者数 21人

※今年度始めに全会員へ登録更新についての意向確認を実施。主に活動参加歴のある会員や島内会員が更新を希望した。今年度新規登録会員は3名。

活動状況

開催日	活動内容	参加者	主催者
平成23年8月23日	屋久島山岳部保全募金活動	2人(4人)	山岳部利用対策協議会
平成23年9月1日 ～7日	日豪環境ボランティアプログラム	13人(136人)	財団
平成23年10月19日	田代海岸清掃	2人(7人)	財団
平成23年11月6日	ヤクタネゴヨウ下草刈り	1人(35人)	生物多様性保全協議会
計	4回	18人(182人)	

※()は全参加延べ人数

(イ) メーリングリストや文化村センター内に設けてあるボランティアコーナーを利用し、島内のボランティア情報を提供した。

⑤ 環境文化芸術活動支援

ア 島外の優れた文化芸術活動を行っている方を招へいし、島民の文化芸術意識の向上を図った。

内容	開催日時	参加者
オータムコンサート (研修センター及び離島開発総合センター)	平成23年11月12日 19:00～ 平成23年11月13日 14:00～	70人 110人

イ 各集落に伝わる伝統芸能の保存会へ支援を行うことにより、伝統芸能の継承や地域交流に努めた。(10万円/3団体)

集落名	保存会名称	支援内容
一湊	一湊芙蓉会	伝統芸能の保存継承活動、備品購入
小島	小島棒踊り	〃
平内	平内手踊り	〃

ウ 国土交通大臣杯全国離島交流中学校野球大会に参加する屋久島地区代表選手選考大会として「まるりんカップ」中学校野球大会を開催した。

- ・参加チーム数 4校
- ・優勝 中央中学校
- ・準優勝 安房中学校

(4) 屋久島地域づくり支援事業

① エコツーリズム支援

エコツーリズム推進法に基づく「屋久島町エコツーリズム推進協議会」へ参画し、エコツーリズム推進のための全体構想策定の協議を行った。また、「里のエコツアー」を推進することを目的に町と協力し、集落の意識調査を実施した。

② 地域づくり支援

地域づくりを支援するため、イベントや地域活動等に対し支援を行った。
イベント枠(5万円/2団体)

実施主体	事業内容	開催日
やくしま夏祭り実行委員会	平成23年度やくしま夏まつり	7月23日
屋久島ご神山祭り実行委員会	第30回屋久島ご神山まつり	8月6日～7日

③ 屋久島新特産品開発プロジェクト事業

新特産品開発を行っている2団体に支援を行い3商品を開発した。
屋久島新特産品開発への支援

実施主体	事業内容
市橋農園	たんかん八味, 屋久島茶のふくれ菓子
有限会社 原の里	かからん団子保存研究, かわひこのレシピ

(5) 「日豪環境ボランティアプログラム」実施

(社)国土緑化推進機構「緑の募金」の助成を受け、オーストラリア(6名)と日本(14名)及び島内(各日約10名)のボランティアが連携して、屋久島の森林環境維持や希少種の保全活動(9/1～9/7)を行った。また、屋久島の自然や文化にふれながら相互の交流を深めた。

(6) 財団管理運営事業

① 環境文化村構想の普及啓発

環境文化村構想を普及するため、「財団パンフレット」や「環境学習スポット」、「文化村センターリーフレット」を配布した。

また、関東屋久島会総会(11月27日:東京都)、屋久島関東ファンクラブ総会(6月24日:東京都)、近畿屋久島会総会(6月19日:大阪市)、第7回関西鹿児島ファンデーター(6月19日:大阪市)、中部屋久島会総会(4月24日:名古屋市)などの出郷者会やファンクラブ総会、さらに「屋久島からのメッセージと自然芸術展」(7月19～24日:渋谷区NHKふれあいギャラリー)などにおいて、環境文化村構想の普及啓発を行った。

② 効率的な管理運営の推進

効率的な管理運営や施設の利用促進のための広報に努めるとともに、平成24年度に向けた業務の見直しなどを行った。

また、環境保全募金活動の展開、賛助企業の拡大など財政基盤強化に努めた。

更に、環境文化村センターでの個人客の利便性の向上を図るため、展示ホールに自動音声解説システム(日本語版、英語版)を導入し、利用促進を図った。

(7) 屋久島環境文化村中核施設管理運営等事業

屋久島環境文化村中核施設である環境文化村センター及び環境文化研修センターの管理運営業務を県から受託し、その適切な管理を行うとともに、利用料増収のための修学旅行生等の団体客誘致活動や経費節減による効率的な運営に努めた。

また、環境文化村センターエントランスホールを一部改修及び県による大型映像のデジタル化をするなど、施設設備の維持管理にも努めた。

① 開館15周年記念事業

〈村センター〉

内 容	開 催 日	参加者
島民感謝デー（無料観覧）	7月17日～31日	155人
まるりん撮影会	7月31日	103人
オリジナルうちわ作り	7月31日	約230人
簡単！わくわく理科工作	7月31日	約120人
映画会Ⅰ「インビクタス～負けざる者たち～」（大人向）	7月30日	29人
映画会Ⅱ「トイ・ストーリー3」（親子向）	7月31日	158人

〈研修センター〉

内 容	開 催 日	参加者
ワクワク理科体験	7月23日	51人
植物拓本	7月23日	
オリジナルうちわ作り	7月23日	
映画会 「トイ・ストーリー3」（親子向）	7月23日	

② 交流ホール貸出展示

内 容	開 催 日
貼り絵展	平成23年 3月19日～ 4月 9日
屋久島写真展	〃 4月26日～ 5月 8日
自然抽象絵画展	〃 5月13日～ 6月10日
絵手紙とタペストリーの展示	〃 7月 9日～ 7月31日
絵画, 石刻, 陶芸等の展示	〃 8月 2日～ 8月 8日
益救参道写真展	〃 8月13日～ 8月21日
小瀬田書道教室作品展示	〃 8月21日～ 9月10日
屋久島レクレーションの森作文展示	〃 10月 7日～10月20日
磯野宏夫原画展	〃 10月22日～10月30日
屋久島の油彩画, 墨彩画, 素描等の展示	〃 11月 8日～11月30日
ニュージーランド×屋久島2011交流事業報告展	〃 12月 3日～12月17日
ヨガとスパを紹介する写真と絵の展示	〃 12月20日～ 1月19日
屋久島の魚介図鑑原画展	〃 12月21日～ 1月31日
鹿児島県の希少生物の写真パネル展示	平成24年 2月 2日～ 2月12日
馬毛島写真展	〃 3月 2日～ 3月23日

③ 中核施設利用者の状況

ア 屋久島環境文化村センターの状況

【入館者数】

(単位：人・%)

区 分	21年度	22年度	23年度	対前年度比
入 館 者 数	64,378	57,898	51,747	89.4%
うち有料観覧者数	36,697	29,606	29,949	101.2%

【その他施設の利用状況】

施設名	利用回数(延べ日数)
レクチャー室	57回(78日間)
交流ホール	15回(198日間)
大型映像ホール	3回

イ 屋久島環境文化研修センターの状況

【利用者数】

(単位：人・%)

区 分	21年度	22年度	23年度	対前年度比
利 用 者 数	4,801人	5,359人	6,933人	129.4%

【その他施設の利用状況】

施設名	利用回数(延べ日数)
視聴覚室	1回(1日)
レクチャー室	4回(4日)